

ばんえい競馬のなりたちと変遷

開拓時代、北海道の暮らしの中から生まれたばん馬の競走が初めて地方競馬法で競馬として認められたのは昭和21年のこと。以来、目覚ましい発展を遂げ、時に苦難の時期を乗り越えてきたばんえい競馬、70年の歩みをたどります。



昭和33年7月27日、帯広で開催されたばんえい競馬のレースのひとつ。当時はまだ、わら袋に砂を詰めた重量物をそりに載せ、騎手は座ったまま馬を操っていたことが分かる。(写真/荘田喜與志)